



Sun Fire™ X4150 サーバー用 Sun Integrated Lights Out Manager 補足ドキュメント

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 820-6701-10
2008年10月、改訂A

本書についてのご意見・ご感想は、<http://www.sun.com/hwdocs/feedback> のフォームを使って弊社までお送りください。

Copyright © 2008 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

本製品には Sun Microsystems, Inc. の機密情報および企業秘密が含まれています。Sun Microsystems, Inc. の書面による事前の許可なく使用、公開、または複製することを禁じます。

本製品にはサードパーティーによって開発された素材が含まれている可能性があります。Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Java、Solaris および Sun Fire は、Sun Microsystems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel Inside は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本製品は、米国輸出管理法の対象であり、これらの法律により管理されます。また、その他の国の輸出または輸入に関する法律の対象となる可能性があります。原子力、ミサイル、生物化学兵器、または海洋核戦力の最終用途での本製品の使用、またはそれらに携わるエンドユーザーによる本製品の使用は、直接あるいは間接を問わず、固く禁じられています。米国の通商禁止国または輸出禁止リストに掲載されている団体、禁止対象の個人や特別に指定された国の国民などに対する輸出または再輸出は固く禁じられています。

CPU の予備品または交換品の使用は、米国の輸出法に準拠して輸出された製品の CPU の修理または 1 対 1 での交換に限り許可されています。米国政府の許可を得ることなく、製品のアップグレード目的で CPU を使用することは、固く禁じられています。



Adobe PostScript

目次

はじめに v

ILOM の手順 1

ファームウェアのアップグレード 1

ILOM の root パスワードのリセット 1

▼ BIOS からのパスワードのリセット 2

▼ J33 ジャンパを使用したパスワードのリセット 2

Sun Fire X4150 Server ILOM 2.0 補足ガイド 3

サポートされる ILOM 2.0 機能 3

センサー参照情報 3

電源センサー 4

温度センサー 5

電圧センサー 5

ファンセンサー 7

NMI ボタンセンサー 7

ディスクドライブ (HDD) センサー 8

障害 LED 8

はじめに

『Sun Fire X4150 サーバー用 Sun Integrated Lights Out Manager 補足ドキュメント』には、Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 に関する Sun Fire™ X4150 サーバー固有の情報が記載されています。

ILOM 2.0 とその機能の詳細、およびユーザーが行う作業の手順については、『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』、『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド (補足)』、および『Sun Fire X4150 サーバーご使用にあたって』を参照してください。

関連ドキュメント

Sun Fire X4150 サーバーのドキュメントセットについては、システムに付属の『Sun Fire X4150 サーバーのドキュメントの場所』シートを参照してください。また、ドキュメントは、<http://docs.sun.com> でも参照できます。

一部のドキュメントについては、<http://docs.sun.com> で翻訳版が提供されています。ドロップダウンリストから言語を選択し、製品カテゴリのリンクを使って Sun Fire X4150 サーバーのドキュメントに移動します。ドキュメントは、簡体字中国語、フランス語、日本語の翻訳版が入手可能です。

英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。Sun のすべてのドキュメントについては、<http://docs.sun.com/> を参照してください。

表記上の規則

書体*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	% su Password:
AaBbCc123	書名、新しい用語、強調する語句、および変数を示します。変数の場合には、実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『User's Guide (ユーザーズガイド)』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。これを行うには、スーパーユーザーである必要があります。 ファイルを削除するには、rm <ファイル名> と入力します。

* ご使用のブラウザの設定によっては、表示内容が多少異なる場合もあります。

サードパーティーの Web サイト

Sun 社は、本書で挙げているサードパーティーの Web サイトの利用について責任を負いません。また、当該サイトまたはリソースから入手可能なコンテンツや広告、製品またはその他の素材を推奨したり、責任あるいは法的義務を負うものではありません。さらに、他社の Web サイトやリソースに掲載されているコンテンツ、製品、サービスなどの使用や依存により生じた実際の、または疑わしい損害や損失についても責任を負いません。

コメントをお寄せください

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心がけており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。コメントは、次のサイトを通してお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号を記載してください。

SunSun Fire X4150 サーバー用 Sun Integrated Lights Out Manager 補足ドキュメント、部品番号 820-6701-10。

ILOM の手順

この章では、Sun Fire X4150 サーバーに固有の次の ILOM 2.0 の手順について説明します。

ファームウェアのアップグレード

システムを ILOM にアップグレードしていない場合は、『ILOM から ILOM への移行ユーザーズガイド』(820-6730)を参照してください。

ILOM の root パスワードのリセット

ILOM の「root」ユーザーのパスワードが失われた場合は、次のいずれかの手順を使用して、出荷時のデフォルトのパスワード (“changeme”) にリセットできます。

- [「BIOS からのパスワードのリセット」\(2 ページ\)](#)
- [「J33 ジャンパを使用したパスワードのリセット」\(2 ページ\)](#)

▼ BIOS からのパスワードのリセット

この手順では、BIOS 構成画面を使用して、ILOM の「root」パスワードをリセットします。BIOS 構成画面の詳細については、『*Sun Fire X4150 Server Service Manual* (Sun Fire X4150 サーバーサービスマニュアル)』の付録「BIOS Screens (BIOS 画面)」を参照してください。

1. システムをリブートします。
2. 電源投入時の自己診断テスト (POST) 画面が表示されたら、F2 キーを押して、BIOS 構成画面が表示されるまで待ちます。
3. 「Server (サーバー)」タブに移動し、「Set AST2000 LAN Configuration (AST2000 LAN 構成の設定)」を選択します。
4. 「LAN Configuration (LAN 構成)」画面で、「Reset BMC Password (BMC パスワードのリセット)」を選択します。リセットの確認画面が表示されます。
5. F10 キーを押して保存し、終了します。
システムがリブートされます。これで、ILOM の「root」パスワードは、「changeme」に変更されました。

▼ J33 ジャンパを使用したパスワードのリセット

注 – この手順では、BIOS パスワードもクリアされます。

J33 ジャンパを取り付けてシステムの電源を入れると、ILOM の root パスワードは出荷時のデフォルト (「changeme」) に設定され、BIOS パスワードはすべてクリアされます。パスワードのリセット手順は、次のとおりです。システムの電源を切ります。

1. J33 ジャンパを取り付けます。
2. ジャンパを取り付けたら、システムをブートします。
3. システムの電源を切ります。
4. J33 ジャンパを取り外します。

ジャンパの設置方法と取り外し方法などの詳細については、『*Sun Fire X4150 Server Service Manual* (Sun Fire X4150 サーバーサービスマニュアル)』の「Servicing Motherboard Components (マザーボードコンポーネントのサービス)」の章を参照してください。

注 – J33 ジャンパを取り付けたままにすると、システムをブートするたびに ILOM の root パスワードがリセットされ、BIOS root パスワードがクリアされます。

Sun Fire X4150 Server ILOM 2.0 補足 ガイド

本書では、Sun Fire X4150 サーバーで実行される ILOM 2.0 に関して、プラットフォーム固有の情報を提供します。

この補足ドキュメントは、次のトピックで構成されています。

- [「サポートされる ILOM 2.0 機能」](#) (3 ページ)
- [「センサー参照情報」](#) (3 ページ)

サポートされる ILOM 2.0 機能

Sun Fire X4150 サーバーは、遅延 BIOS アップグレードを除いて、ILOM 2.0 機能セットをすべてサポートします。

センサー参照情報

サーバーには多くのセンサーが搭載されており、しきい値を超えるとシステムイベントログ (SEL) に測定値が書き込まれます。これらのセンサーの測定値に基づいてファンの速度を調整したり、LED の点灯、サーバーの電源切断などの操作を行います。

この節では、次のセンサーについて説明します。

- [「電源センサー」](#) (4 ページ)
- [「温度センサー」](#) (5 ページ)
- [「電圧センサー」](#) (6 ページ)
- [「ファンセンサー」](#) (7 ページ)

- 「ディスクドライブ (HDD) センサー」 (8 ページ)
- 「障害 LED」 (8 ページ)

電源センサー

表 2-1 に電源センサーの一覧を示します。

システムには通常、PS0 および PS1 という 2 つの電源モジュールがあります。すべてのセンサーは、/SYS/PS_N の下にありますが (ただし /SYS/VPS を除く)。

たとえば、/SYS/PS0/PRSNT は電源 0 の存在を示すインジケータです。

表 2-1 電源センサー

センサー名	説明
/SYS/VPS	電源出力 (ワット)。 <ul style="list-style-type: none"> • upper_nonrecov_threshold - 1350 ワット • upper_critical_threshold - 1220 ワット • upper_noncritical_threshold - 1080 ワット
PS _n /PRSNT	電源 0 または 1 の存在の有無を示します。
PS _n /VINOK	入力電圧に問題がない場合、アサートされます。
PS _n /PWROK	電源レベルに問題がない場合、アサートされます。
PS _n /V_IN	入力電圧のレベル。 <ul style="list-style-type: none"> • upper_nonrecov_threshold - 280.00 V • upper_critical_threshold - 270.00 V • upper_noncritical_threshold - 260.00 V • lower_noncritical_threshold - 90.00 V • lower_critical_threshold - 80.00 V • lower_nonrecov_threshold - 70.00 V
PS _n /I_IN	入力電流 (A)
PS0/V_OUT	出力電圧レベル。 <ul style="list-style-type: none"> • upper_nonrecov_threshold - 16.00 V • upper_critical_threshold - 14.96 V • upper_noncritical_threshold - 14.00 V • lower_noncritical_threshold - 10.00 V • lower_critical_threshold - 8.96 V • lower_nonrecov_threshold - 8.00 V

表 2-1 電源センサー (続き)

センサー名	説明
PSn/I_OUT	出力電流 (A)。
PSn/IN_POWER	入力電力 (ワット)。
PSn/OUT_POWER	出力電力 (ワット)。

温度センサー

表 2-2 に温度センサーの一覧を示します。

温度センサーは、マザーボードとシャーシの温度の状態を報告します。

表 2-2 温度センサー

センサー名	説明
ACPI	電源の状態 (ON または OFF) アサートされている場合、ファームウェアのアップグレードはできません。
MB/T_AMBn	マザーボード温度センサー n ($n = 0 \sim 3$)。 <ul style="list-style-type: none"> • upper_critical_threshold - 65.00 °C • upper_noncritical_threshold - 60.00 °C
T_AMB	シャーシ温度センサー。 <ul style="list-style-type: none"> • upper_nonrecov_threshold - 50.00 °C • upper_critical_threshold - 45.00 °C
MB/T_DIMMn	DIMM 温度センサー n ($n = 0 \sim 3$)。 <ul style="list-style-type: none"> • upper_critical_threshold - 95.00 °C • upper_noncritical_threshold - 90.00 °C

電圧センサー

表 2-3 に電圧センサーの一覧を示します。

電圧センサーは、システム内の電圧レベルを報告します。この報告のほとんどには、重大なエラー状態および回復不可能な状態の上限および下限しきい値が含まれています。

表 2-3 電圧センサー

センサー名	説明
MB/V_+12V	12 V 電源レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 13.91 V• lower_critical_threshold - 10.32 V
MB/V_VTT	VTT 電圧レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 1.39 V• lower_critical_threshold - 1.03 V
MB/V_+1V5	1.5 V 電源レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 1.72 V• lower_critical_threshold - 1.27 V
MB/V_+3V3	3 V 電源レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 3.81 V• lower_critical_threshold - 2.82 V
MB/V_+5V	5 V 電源レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 5.94 V• lower_critical_threshold - 4.40 V
MB/V_+3V3STBY	3 V スタンバイ電源レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 3.78 V• lower_critical_threshold - 2.80 V
MB/V_+1V5STBY	5 V スタンバイ電源レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 1.716 V• lower_critical_threshold - 1.271 V
MB/V_+1V8	1.8 V 電圧レベル。 <ul style="list-style-type: none">• upper_critical_threshold - 2.27 V• lower_critical_threshold - 1.68 V
MB/Pn/PRSNT	プロセッサ 0 ~ 3 が存在する。
MB/Pn/V_VCC	VCC 電圧レベル。
MB/Pn/TCCAT	システムで CPU の自動冷却を開始する前の CPU の温度にどれだけ近いかを測定。

ファンセンサー

表 2-4 にファンセンサーの一覧を示します。

ファンセンサーは、システムファンの状態を報告します。すべてのファンセンサーに、次の条件が適用されます。

- FBn は、ファンボード 0 または 1 です。
- FMn は、FB0 のファンモジュール 0 または 1 です。
- Fn は、ファンモジュールのファン 0 または 1 です。

例:

F0/FM1/F0/TACH は、ファンボード 0、ファンモジュール 1、ファン 0 の速度です。

表 2-4 ファンセンサー

センサー名	説明
$FBn/PRSNT$	ファンボード 0 または 1 が存在します。
$FBn/FMn/PRSNT$	ファンモジュール 0 または 1 が存在します。
$FBn/FMn/Fn/TACH$	ファン 0 または 1 のファン速度。 <ul style="list-style-type: none">• lower_critical_threshold - 2400.00 RPM• lower_nonrecov_threshold - 2000.00 RPM

NMI ボタンセンサー

表 2-5 に NMI ボタンセンサーの一覧を示します。

NMI ボタンセンサーは、システムに NMI ボタンが存在するかどうかを報告します。

表 2-5 NMI ボタンセンサー

センサー名	説明
NMIBTN	NMI ボタンが存在します。

ディスクドライブ (HDD) センサー

表 2-6 にディスクドライブセンサーの一覧を示します。

ディスクドライブセンサーは、ディスクバックプレーン (DBP) のハードディスクドライブ (HDD) の存在の有無および状態を報告します。

表 2-6 ハードディスクドライブ (HDD) センサー

センサー名	説明
DBP/PRSNT	ディスクバックプレーンが存在します。
DBP/HDDn/PRSNT	ハードドライブ (HDD) が存在します。
DBP/HDDn/STATE	ハードドライブ (HDD) の状態。

障害 LED

表 2-7 に障害 LED の一覧を示します。

障害 LEDは、システムの問題を示します。問題が発生すると、前面パネルの LED が点灯します。

表 2-7 障害 LED。

センサー名	説明
PSn/CUR_FAULT	入力電流レベルに問題がない場合、非アサートされます。
PSn/VOLT_FAULT	電圧レベルに問題がない場合、非アサートされます。
PSn/FAN_FAULT	電源ファンに問題がない場合、非アサートされます。
PSn/TEMP_FAULT	電源温度に問題がない場合、非アサートされます。